

# 12月25日以降の大雪に伴う作業の 安全確保と今後の農作物等の技術対策

福島県農林水産部研究技術室

12月25日以降の大雪により、会津地方を中心にパイプハウスの倒壊や破損等の被害が発生しました。早急に被害状況を確認するとともに、被害の状況に応じた事後対策を実施しましょう。また、今後も降雪が続くことが予想されますので、施設の補強や除雪、果樹棚や樹体被害の防止対策等にも万全を期してください。

## 1 除雪作業

### (1) 除雪機の点検と操作方法

- ・作業開始前には、除雪機の点検を実施します。
- ・除雪機械の操作方法や、緊急時の機械停止方法を再確認します。機械の操作方法は、一緒に作業をする人にも周知します。

### (2) 作業中の事故防止

- ・作業しやすく、機械に巻き込まれない服装で作業します。
- ・倉庫、資材庫、畜舎、堆肥舎等の雪下ろしを行う場合は、屋根からの転落に気をつけてください。必ずヘルメットや安全带・命綱等を装着し作業者の安全を確保してください。
- ・建物の屋根からの落雪に十分注意してください。
- ・路肩、側溝、用排水路、河川、川岸などの危険箇所を作業前に十分確認し、目印をたてるなどして転落事故を防止してください。
- ・作業中の除雪機械での挟まれ事故、巻き込まれ事故に注意しましょう。
- ・1人での作業は避けグループで作業し、相互に安全確認を行ってください。

### (3) 農業用機械による除雪作業の注意

- ・トラクタ等の農業用機械を使用して除雪作業を行う場合は、雪面でのスリップや滑落に注意してください。
- ・タイヤには滑り止めを装着してください。

### (4) 休憩時間の確保、体調維持

- ・除雪作業は作業強度がたいへん強く疲労が激しいので、十分な休憩時間を取りながら作業を行い、体調維持に留意してください。
- ・疲労による注意力の低下は事故の発生につながるため、長時間の作業は避けてください。

## 2 園芸加温施設

- ・ボイラー等加温機械の定期的な点検を励行し、安全管理を徹底します。
- ・加温機械周囲の除雪を励行し、排気ガスの逆流等を防止します。

## 3 作物別の対策

### (1) 野菜・花き（共通）

#### ア 被害を受けた場合の対応

パイプハウス骨材の曲がりや被覆資材の破損が一部にとどまり、残った作物の栽培が可能な場合は、速やかに補修及び補強を行い、内トンネルやべたがけ等で被覆するなどの保温対策を実施してハウス内の作物の最低温度を確保しましょう。

作物栽培中のパイプハウスが倒壊した場合には、作物に大きな障害が考えられます

が、いちごやほうれんそう、トルコギキョウなど、品目や生育ステージによって回復が可能な場合もありますので、必要に応じて最寄りのＪＡや農林事務所に相談しましょう。

パイプハウス骨材・被覆資材の撤去や修復は、降雪が治まるのを待って安全性を十分に確保して行いましょう。

#### イ 今後の被害防止対策

パイプハウスを中柱や筋交いで補強しましょう。また、今後の降雪に備えて、ハウス周囲を除雪しておきましょう。

屋根に雪が着雪する場合は、速やかに雪下ろしを行いましょ。特に古い被覆資材は滑りが悪いので注意してください。なお、短時間に多量の降雪があり、雪下ろしが間に合わない場合は、被覆資材を切るなどして施設の倒壊を防ぎましょ。

### (2) 果 樹

#### ア 樹体被害等の防止対策

果樹棚上や樹体に着雪が多い場合は、早急に雪下ろしを実施ましょ。枝が雪に埋没している場合は、雪の沈降が進まないうちに掘り出します。また、雪が固まっている場合は、沈降力を軽減させるため周囲に切込みを入れて溝を作ってから掘り出します。

#### イ 樹体被害等を受けた場合の対策

主幹部が裂開した場合には、できるだけ早急に支柱を添えカスガイやボルトで早めに止めて接合します。また、大枝が折損した場合は、折れた部分からやや基部の健全な部分で切り戻します。さらに、傷口から病害などが侵入しやすいので、傷口の保護に努めます。

果樹棚のワイヤー等が破損した場合は、速やかに修復や補強を実施ましょ。